



学校だより

平成30年1月31日
練馬区立北町西小学校
校長 吉川 文章
第661号

チーム北西で全ての児童の成長にかかわる

「全学年の学級編成替え（クラス替え）を追い風により豊かな人間性を育む」

校長 吉川文章

このことは、職員会議（来年度の経営構想）でも触れさせていただいた内容です。今回、その意義についてお伝えをさせていただきます。

全学年の学級編成替えは、特に珍しいことではありません。区内でも実施をしている学校はあります。では、なぜ、これを本校でも実施するのかについて背景も含め説明をいたします。

「少子高齢化」「情報の加速度的な発達」「他者との関係の希薄化」「格差社会の広がり」等、社会の変化が、子どもに与える影響は著しいものがあります。本校も例外ではありません。「今の子どもたちが就労する頃には、65%は、まだこの世に存在しない仕事であり、45%の仕事は姿を消している」という予測はメディアを賑わせています。観光産業の発展や外国人労働力の拡充にともない世界中の多くの人々との関わりも急激に増えます。子どもたちは、世界中の人々と関わり仕事をするのも一般的となるでしょう。そのような、かつて経験したことのない社会を生き抜くために求められる一番必要な力はなんでしょうか。私は、「コミュニケーションの力」であると考えています。そして、現代社会で、子どもたちが、それを学ぶ一番の機会は、学校を置いて他にないと考えています。

「毎年のクラス替え」により、「子どもたちには、多くの関わり合いをしてほしい」と考えています。小学校生活の6年間において、6回のクラス替えをすることによって、学年ほぼ全ての子どもたちと関わることとなります。多くの個性との出会いです。豊かな心が醸成されるでしょう。衝突もあるかもしれません。つまずき、失敗をしながら学ぶのが小学校です。むしろ、大きく変化する将来の社会の中で「生き抜く力」が育つ「絶好の機会」と前向きにとらえます。

北西小には、「学級王国」という発想はありません。先生方には、北西小に通う全ての子どもたちを自分のクラスの子どもたちのように、家族のように思っただきたいと考えています。「全ての児童の心根に寄り添った支援」は、本校の教師に求める理想像であり。特別支援教育の原点です。学年の結束力は学校の結束力に結び付くと確信をします。

周年行事に向けた活動で、多くの保護者や地域の方々が、子どもたちの笑顔や成長を「我が事のように」「我が子のように」喜んでくださっています。北西の保護者や地域の皆さま、我々教職員全員がそう思い、「チーム北西」で全ての児童の成長に関わる理想の学校の実現に向けた重要なアクションであるご理解ご支援ください。

6年生を送る会にむけて

特別活動部 市村奈美

2月23日(金)に「6年生を送る会」と「交流給食」があります。1年間北町西小学校のリーダーとして様々な場面で活躍してくれた6年生に感謝の気持ちを伝えるために、6年生へのプレゼント、体育館装飾、交流給食での飾り、各学年の出し物、全校で歌う「キセキ」の練習など少しずつ準備が始まり、気持ちが高まってきています。来年度6年生からのバトンを受け継ぐ5年生は、交流給食でたてわり班のリーダーとなって会を進めるため、休み時間などを利用して話し合いを重ねています。当日の活躍が楽しみです。6年生の心に残る素敵な会になるよう引き続き準備を進めていきたいと思っています。

体力向上旬間について

体育主任 渡部 透

長縄、マラソン習慣に引き続き体力向上旬間の一つである短縄週間の季節がやってきました。縄跳びは全身運動の一つであり、集中力や忍耐力、持久力の向上など多くの効果が期待されているスポーツです。北西小では、縄跳びカードや縦割り活動、体育の時間、休み時間を活用して、意欲的に取り組めるよう進めていきます。学校公開にあたる最終日には、しっかり練習した成果や技を披露できることでしょう。

道徳授業地区公開講座

道徳授業推進担当 奥野 佳奈

1月13日(土)に道徳授業地区公開講座を実施し、多くの保護者の皆様に足を運んでいただきました。ありがとうございました。

今回は、校内で「生命尊重」をテーマに、命の大切さについて学習しました。

1年生は、「車いすの犬」について、2年生は、「命(心臓)の音」について、3年生は、「電池(自分の命)が切れるまで」について、4年生は、「自分のもつ、生きる力」について、5年生は「生きていく、本当の幸せ」について、6年生は、ALS患者マカ氏による命の授業を行いました。各学年、子供たちの発達段階に合わせた、生命尊重の授業を行いました。授業の後に子供たちに話を聞いてみると、「命の大切さを学んだ。」や、「自分の命は様々な人に支えられており、精一杯生きることが大切だと思った。」などの声があがっていました。これからも、道徳授業だけではなく、様々な教科において命の大切さについて学習していきたいと思います。

校内書き初め展

書写担当 佐藤 友美

1月13日(土)から31日(水)まで、校内書き初め展が行われました。冬の凜とした空気の中、どの子どもも真剣に自分の字と向き合い、書き初めを行いました。各学年で、昨年のうちから書写の授業などで練習したり、冬季休業中に家庭でも熱心に練習したりしたことで、その成果を十分に発揮された作品を書き上げることができたようです。

校内に一齐に掲示された作品を見て、互いの字を褒め合う児童の姿も見られました。

保護者の方に一番見ていただきたいことは、児童一人一人の上達ぶりです。努力を重ね、素晴らしい進歩を遂げた児童が数多くいます。

それを見逃さず、賞賛のお言葉をいただければ幸いです。



特別支援教育コーナー

スター（STER、才能開発教室）心理士の紹介

特別支援教育コーディネーター 江尻聖子

スターの開設に伴い、年間40時間、日にちにすると7日、石川芳子心理士に訪問をしていただいています。訪問の目的や活動の内容は以下の通りです。

スターに通う児童が、学級でより力を発揮するために、学級やスターでの授業の様子をみていただき、学級担任やスターの先生にコンサルテーション（専門的な指導や助言）を行います。

学校全体の中で、授業で困り感のある児童の様子をみていただき、専門的な支援が必要な児童をスターにつなげるためのアドバイスを学校にさせていただきます。

学校の特別支援教育推進のためにアドバイスをさせていただきます。

石川先生は、他区市の教育委員会で特別支援教育の推進に関わっておられる経験豊富な方です。本校には、6月からお出でいただいておりますが、児童の変容や先生達の指導力向上に結びつくなど、成果も現れてきています。今後も石川先生の訪問が、スターの円滑で効果的な運営や本校の特別支援教育のさらなる推進に結びつくよう連携を図っていきます。

60周年記念行事コーナー

1月周年行事実行委員会報告

副校長 齋藤玲子

1月17日（水）18：30に本校、会議室において開催されました。

森屋正治実行委員長からは、昨年のパザーでは、お世話になったことと、さらに地域・学校がまとまり、60周年を盛り立てたいとのご挨拶をいただきました。

校長からは、屋上に「祝60周年」の文字を取り付けたことを紹介し、これから児童がそれを見上げる度に「60周年」を楽しみにして、学校全体の機運を高めていきたいとの挨拶を申し上げます。

今回は、来年度から10月6日（土）の記念式典、祝賀会に向けての大まかな活動日程の確認をしました。以下、話し合われたことの内容です。

- ・今年度中に、招待者名簿を作成し、4月の実行委員会で検討する。
- ・予算の細案を立てる。収入の見込みで、記念品を決める。
- ・購入の希望として、「テント」の要望あり。
- ・クリアファイルは児童用に写真入りを検討。来賓は付けるか、写真なしか今後検討する。
- ・祝賀会の業者の選定をどのようにするか。会費をどうするか。

次回の実行委員会（3月8日予定）までに各担当で資料をまとめ、細案を練る予定です。

2月の行事予定

2日	金	児童集会 委員会活動
5日	月	たてわり遊び(交流給食準備)
6日	火	避難訓練
7日	水	学習補充教室
8日	木	お琴授業(6年)
9日	金	音楽集会 クラブ活動
10日	土	短縄体育朝会 学校公開(3時間) 薬物乱用防止講座(6年) 新1年生入学説明会
11日	日	建国記念の日
12日	月	振替休日
13日	火	たてわり遊び クラブ発表週間
15日	木	社会科見学(3年)
16日	金	児童集会 クラブ活動
20日	火	社会科見学(5年)
21日	水	学習補充教室 保育園児との交流会
22日	木	B時程 5時間授業
23日	金	音楽集会 6年生を送る会 委員会活動
26日	月	おまんじゅう作り(2年)
28日	水	学習補充教室

スクールカウンセラー 来校予定

2月 1日(木) 8日(木) 15日(木) 22日(木)

詳細は副校長にお問い合わせください。TEL 3932-7234